



# 四人制審判メカニクス

流山市少年野球連盟審判部監修

令和3年

99mm

参照:「審判メカニクスハンドブック第5版」  
日本野球協議会 OP 委員会審判部(2017判)

## ◇四人制審判の取り決め事項

### 1. ポジショニング

#### 「2塁塁審は」

- ・走者なしと走者3塁の時は、2塁ベース後方「外」に位置する。(外野打球は3分割で担当)
- ・走者がスコアリングポジションにいる場合は1・2塁間の「中」に位置する。※

#### 「1・3塁塁審は」

- ・いずれもファールラインの外(ボール1個分)に立つ。(ラインを跨がない)
- ・3塁に走者が居る場合は、3塁塁審はラインを跨ぎ、走者と本塁が被らぬようにする。

### 2. 外野への打球判定の責任

#### A. 2塁塁審が「外」に位置した場合(外野3分割)

- ① 左翼手より向かって左側への打球...3塁塁審
- ② 左翼手から右翼手までの打球...2塁塁審

1



切取

### ③ 右翼手より向かって右側への打球...1 塁塁審

#### B. 2塁塁審が「中」に位置した場合 (外野打球は追わない)

- ① 中堅手より向かって左側の打球...3塁塁審
- ② 中堅手左付近より右側の打球...1 塁塁審

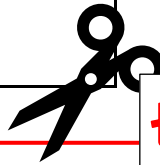
※外野打球を追った審判は打球を判定してその場に留まり(ステイアウト)、プレイを確認後直ちに担当塁に戻り、カバーに入った審判と引継ぎを行う。(引継ぎを行ってから担当塁に戻る)

### 3. 球審の動き

- ① 走者無しと走者 1 塁の場合は3塁をカバーする動きがあるが、走者がスコアリングポジションにいる時は、原則として本塁に留まる。(ステイ)

99mm

2



切取

### 4. 審判上の基本的な取り決め事項

#### ① 球審のジャッジの責任範囲

- ア. 内野内への打球
- イ. 1・3塁ベース及び内野手に触れた打球
- ウ. 内野フライ、内野ライナー

#### ② 1塁塁審のジャッジの責任範囲

- ア. 1塁ベースを含む以遠のライン際の打球
- イ. 外野方向のファール飛球

#### ③ 3塁塁審のジャッジの責任範囲

- ア. 3塁ベースを含む以遠のライン際の打球
- イ. 外野方向のファール飛球

※責任範囲を守り、2人の審判の異なったジャッジを避ける。(Wコール)

3

### 5. その他の注意事項

#### 「一般」

- ア. ファールボール発声は同調しない。また、いつまでもボールが止まるまで観ていない。
- イ. ジャッジの責任範囲は守って。
- ウ. インジケータは見ないで入れられるように。
- エ. 本塁に達する走者及び各塁を通過する走者の触塁は必ず確認する。(指差し確認はダメ)
- オ. ファールライン際の打球判定は必ずラインキープ(ファールラインを体の中心に持つ)

#### 「球審」

- ア. 投球判定、ボール! の発声は、しゃがんだままの位置で、ストライク! はすくと立ち上がって。
- イ. 投球判定はトラッキングをして、投球の通ってきたコースを確認してから発声。
- ウ. マスクは投球時の危険なもので、それ以外には外す。

99mm

